

提供者名：株式会社アポロジャパン		福岡県開放特許	2021-005
タイトル：視認性を損なわない情報コードを埋込んだ、動画等と連携できる印刷物			
技術分野	利用分野・適用製品	情報メモ	
<input type="checkbox"/> 電機・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 情報・通信 <input type="checkbox"/> 有機材料 <input type="checkbox"/> 金属材料 <input type="checkbox"/> 食品・バイオ <input type="checkbox"/> 土木・建築 <input type="checkbox"/> 農林・畜水産 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 機械・加工 <input type="checkbox"/> 化学・薬品 <input type="checkbox"/> 無機材料 <input type="checkbox"/> 輸送 <input type="checkbox"/> 生活・文化 <input type="checkbox"/> 繊維・紙 <input type="checkbox"/> 医療・介護	動画等に紐づけられた情報コードを埋め込んだ印刷物。書籍、ポスター、販促物など 詳細資料： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 サンプル： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 見学： <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 その他：	
従来技術の課題・問題点			
QRコードは印刷物の視認性を著しく阻害するだけでなく、印刷物を受領・保持するユーザー所望の動画や画像などと印刷物の特定箇所との紐づけは行えない。			
本発明の効果・特長			
印刷物には微細な情報コードを埋込んでいるが、人の視覚では区別がつかず、視認性を阻害しない。情報コードを埋込んだ印刷物の特定箇所とユーザー所望の動画や画像と紐づけ記憶でき、スマホ等を印刷物にかざすと動画や画像が再生可能である。			
技術概要（構造・動作等）			
スクリーンコードと呼ぶ微細なドットパターンを原画像とともに印刷した印刷物を作成する。印刷物は人の視覚では原画像との区別はつかない。印刷物上のスクリーンコードをスマホで認識すると、スクリーンコードと紐づけて、ユーザー所望の動画や画像を記憶し、その後、スマホを印刷物にかざして認識すると、当該動画や画像を再生する。			
図・特記事項・その他			
<p>●●● スクリーンコード</p> <p>スクリーンコードを埋め込んだ印刷物 スクリーンコードは微細なもので実際には人の視覚では見えない</p> <p>スクリーンコードと画像を紐づけ、記憶</p> <p>印刷物にかざすと画像が再生</p>			
主たる提供特許		関連特許番号	
登録番号／公開番号：6963798 出願日：2017年9月27日 発明の名称：印刷物連携記録システム及びこれに用いる連携記録印刷物 権利者／出願人：株式会社アポロジャパン			